

農林水産・建設委員会視察研修報告

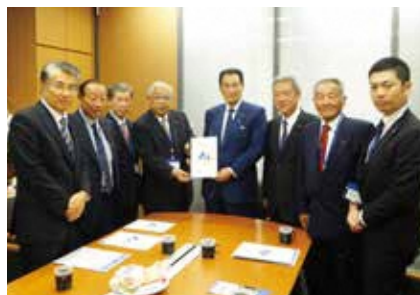
令和元年10月30日（水）～11月1日（金）

当初、鉄道廃線跡地にサイクリングロードを実践している茨城県を視察予定だったが、台風19号による被害のため、急遽、研修先を変更して視察・研修を行った。

令和元年10月30日から三日間の行程で、衆議院第二議員会館、内閣府、日本橋長崎館、東京臨海広域防災公園、東京中央卸売市場「豊洲市場」を訪れ、本県選出国會議員への要望活動、農林水産省の講義受講、県内市町や生産団体、企業との連携による首都圏への県産品の魅力発信のための取り組み、防災体験学習施設及び広域防災施設の研修、海産物等の円滑な流通確保のための取り組みなど4点について研修を行った。



北村誠吾地方創生担当大臣への要望活動



加藤寛治農林水産副大臣への要望活動

と北村誠吾地方創生担当大臣に対し「地域高規格道路の南島原工区（口之津～深江）」と布津町の「貝崎漁港への浮桟橋」及び「沖防波堤の北側消波ブロック設置」の早期事

業化について要望活動を行った。

その後、農林水産省農業環境対策課の紫崎智佳課長補佐より「有機農業推進総合対策事業」について、大臣官房政策課岡本浩一課長補佐から「日米協定とTPP11を合わせた農林水産物の生産額への影響」と題しての講義を受け、それぞれについて質疑応答を行った。



農林水産省講義

有機農業推進総合対策事業のJAS認証料については、世界基準を担保する必要があるため安くは出来ないが、当面は都道府県が行う人材育成や産地育成支援制度を活用して頂きたい。今後は区域の集約についての支援

などを考えていくとのことだった。

また、日米協定とTPP11を合わせた農林水産物への影響については、大きな影響はないと思っ



日本橋長崎館の取り組みについての説明

翌日、午前中は日本橋長崎館を訪問し、館長のご挨拶を受けた後、県内の市・町や生産団体、企業との連携による首都圏への県産品の魅力発信に対する取り組みについて、長崎県東京事務所観光物産センター所長の和田木詳広氏に説明をして頂き、意見交換や館内視察を行

って知見を広めた。



防災体験学習施設

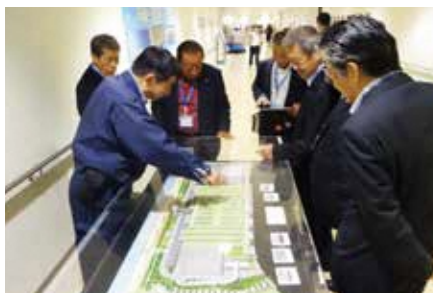
午後は臨海広域防災公園の防災体験学習施設と広域防災施設を視察したあと、災害時避難体験に参加し、避難時の必需品や避難行動時の注意点などについて指導を受け有意義な研修が出来た。

最終日の東京中央卸売



防災体験ゾーン

市場「豊洲市場」では鮮魚部副部長の山下直文氏に市場内の各所を案内して頂き視察・研修を行いました。布津漁協から声掛けをして頂いたこともあって、一般の見学者では立ち入ることが出来ない場所をご案内頂き、貴重な体験をすることが出来た。



一般見学者通路での説明（豊洲市場）



水産物卸売場棟（豊洲市場）